



議会だより

あさぎり

No.39
H 25.11.7 発行

あさぎり町議会 [検索](#)

9 月
本会議

平成24年度一般会計決算状況..... 2～6P
一般質問に9人が登壇..... 8～12P
議会報告会に94人参加 14～15P



4町立保育所 指定管理前の最後の運動会

◆特別会計の決算状況

会 計 名	収 入 額	支 出 額	残 額
国 民 健 康 保 険	26億6067万円	23億9459万円	2億6607万円
後 期 高 齢 者 医 療	1億7098万円	1億6874万円	224万円
介 護 保 険	17億819万円	16億7366万円	3453万円
介 護 サ ー ビ ス	4867万円	4286万円	580万円
簡 易 水 道 事 業	5億4566万円	5億4736万円	▲170万円
下 水 道 事 業	9億6722万円	9億4667万円	2055万円
水 道 事 業	7197万円	6564万円	633万円
上 財 産 区	5342万円	4744万円	597万円
球磨郡障害認定審査事業	983万円	879万円	104万円
球磨郡介護認定審査事業	3431万円	3132万円	298万円

※端数は切り捨ててあります

決算審査意見書(要旨)

本町の各種財政指数は全体的に改善が見られる。
決算審査を通じて感じた課題についての意見は次のとおりである。

1 簡易水道事業特別会計における資金不足の発生

歳入不足による繰上充用額が発生している。関係課において通常の注意を持って事務が遂行されておれば、発生を防止できたものと思われる。担当職員の事務処理の誤りと事務管理体制の不備が原因であると認められる。管理の徹底を図ってもらいたい。

2 有限会社ふるさと振興社助成金

営利を追求することが目的の会社であり、実施している事業も公益性があるものではなく、助成金の対象にはなじまないと認められる。

3 アンテナショップ事業

あさぎり町の特産品の販売と情報発信を目的とするものであるが、6000万円の年間売上目標に対して月間40～50万円の売上であり、経費を負担する見込みが立たない。情報発信に限ればインターネットを使うほうが効果が高いと思われる。費用対効果の点から業務の見直しが重要である。

4 齊堂地区公衆トイレ整備事業

合計19,678,010円と高額な支出であり、今後トイレを整備する際には、十分に注意してもらいたい。

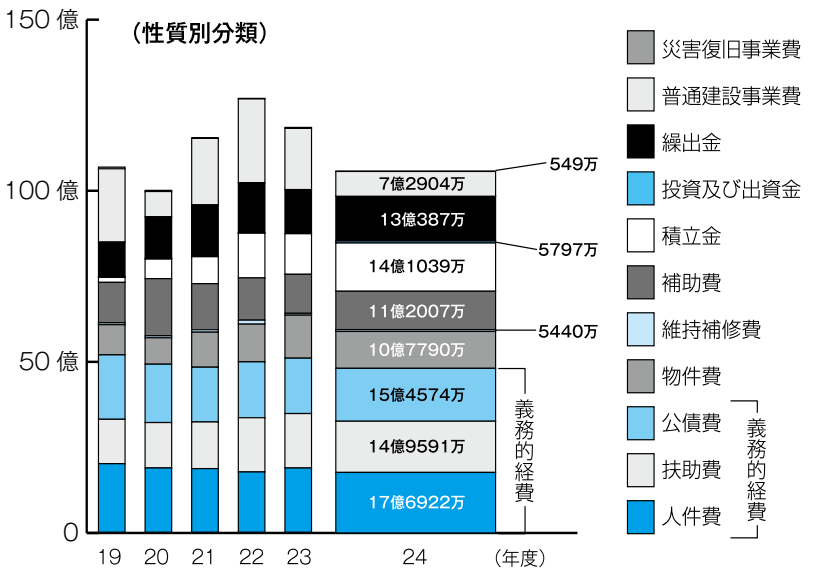
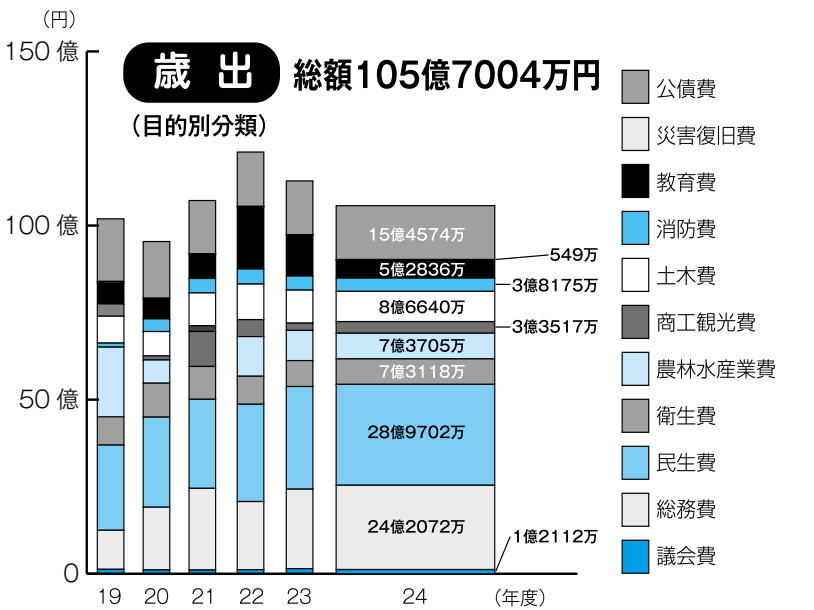
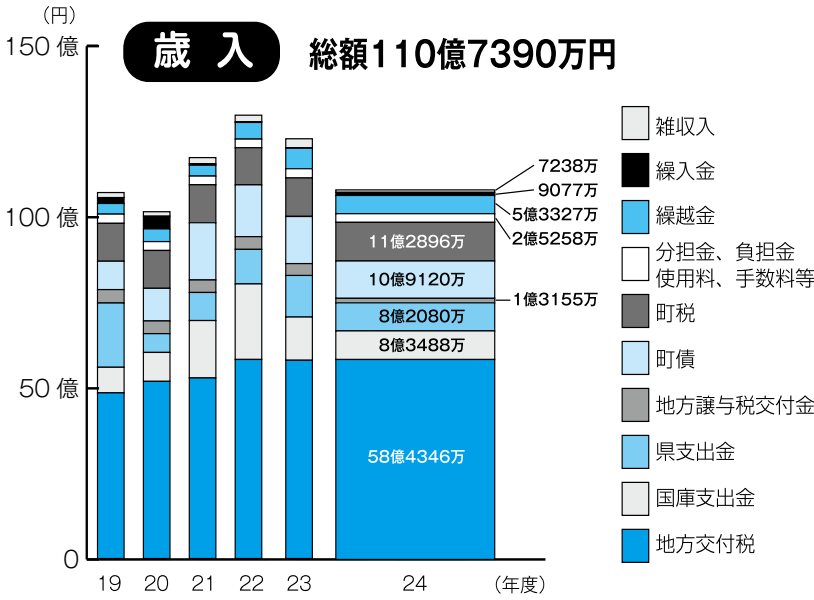
あさぎり町監査委員 月足 茂則

あさぎり町監査委員 山口 和幸

◆平成25年第6回会議 表決一覧表(抜粋)

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
平成25年度あさぎり町一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度あさぎり町一般会計歳入歳出決算の認定について		○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成24年度あさぎり町簡易水道事業特別会計の認定について		○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○
平成24年度あさぎり町水道事業特別会計の認定について		○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
平成24年度あさぎり町下水道事業特別会計の認定について		×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○
道州制導入に反対する意見書について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

平成24年度 一般会計決算状況



財政力指数 0.224 (0.231)

財政力(体力)を示す指数であり、指数が1に近いほど財源に余裕があるとされる。

経常収支比率 80.4% (81.3%)

財政構造の弾力性を判断する指標。比率が小さい方が優秀。端的に言えば人件費等の経常経費比率は75～80%が妥当値のため、80%以上は人件費等が高すぎるということになる。

実質収支比率 6.2% (5.9%)

標準財政規模に対する実質収支の割合をいう。一般的には、3～5%程度が望ましいとされている。

実質公債費比率 13.7% (14.4%)

公債費による財政負担の程度を示すもの。比率が小さい方が優秀。18%以上だと地方債の発行に国の許可が必要となり、25%以上となると一般事業等の起債が制限される。

将来負担比率 90.1% (110.2%)

将来負担しなければならない負債(第三セクターや会社の負債も含む)の割合のこと。数字が大きいと、将来世代の負債が大きいのを示す。

ー □ × モ

*性質別歳出について

地方公共団体の経費は、その経済的性質を基準として分類することができます。性質別分類のうち、職員の給与等の人件費、生活保護法に基づく生活扶助などの扶助費及び町債の元利償還などの公債費は、その支出が義務づけられており、任意に削減できない経費であることから、「義務的経費」といわれます。

道路や施設建設など、まちづくりの充実に使われるもので、町民の皆さんの生活を豊かにするための普通建設事業費などは、「投資的経費」といわれます。

「その他の経費」には、行政運営のための事務的経費などの物件費や特別会計への繰出金、補助費などが含まれます。通常、歳出全体に占める義務的経費の割合が高いほど財政構造は硬直化してきます。逆に、投資的経費の割合が高いほど財政構造は弾力性が大きく、健全な財政であるといえます。

あさぎり町では年々歳出に占める義務的経費の割合が高まってきており、自由に使える町費が減ってきています。

平成24年度 あさぎり町 下水道事業決算を不認定

使用料の賦課漏れ分の徴収が進んでいないため、起立採決の結果、反対8・賛成7で不認定。

平成24年度決算審議内容の抜粋

総務文教常任委員会所管課分 (総務課・会計課・企画財政課・教育委員会)

- 問** 須恵文化ホールの空調設備に苦情が寄せられたが、平成7年の開館以来、年数の経過に伴い、設備に不具合が始めている。対策を検討していく。
- 答** 支所機能が、窓口対応のみになっていないか。
- 問** 窓口対応だけでなく、地域の活性化につながる様、ネットワークシステムの強化等踏まえて考えていきたい。
- 答** 森園カントリーパークの急斜面の芝刈り作業に危険性はないのか。
- 問** 途中に作業道を作るとか、転倒防止の面からも、事故のない様に安全確保の為、予算等も含め検討したい。
- 答** 緊急放送が、全ての世帯に伝わっていないのでは。
- 問** 区長会等でも伺っているが、その都度出向いて音量調節等対応している。それでも聞こえない時は今後対策を考えていきたい。

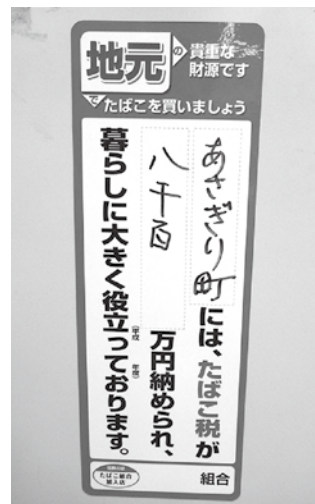
厚生常任委員会所管課分 (税務課・町民課・福祉課・保健環境課)

- 問** 償還金利子及び割引料の町税過誤納還付金は、誤って徴収し過ぎた金額か。
- 答** 町内事業所、事務所の法人税・所得税の還付申告に係る個人住民税等の過誤納還付金である。
- 問** 高齢者住宅改造助成事業の中に、熱中症対策として、冷暖房装置の取り組みは考えられないか。
- 答** 異常気象が続けば、関係町村と協議したい。
- 問** 犬の未登録・狂犬病予防の未注射の頭数等の把握は。
- 答** 平成24年度の実績で登録数1,369頭、接種率90%で、127頭が未接種。獣医師会の協力により集団接種を行う。
- 問** 乗合タクシーの主要な路線数と利用人数は。



- 答** 定期路線が、八路線と予約を必要とする路線が、四路線で合計の7,511名。
- 問** シルバー人材センターに補助金の必要があるのか。
- 答** 25年度からセンターの自主運営が可能ということで補助金は全額削除している。
- 問** 町民税や軽自動車税等の収入未済額が約1億円あまりある。滞納状況の対策は。
- 答** 収納については、滞納整理も含めて力を入れて現在すすめている。現年度分と過年度分を比べて、現年度分はある程度

- 徴収できている。過年度分については、平成21年度から県と連携し強化している。収納率を高めることは、現年度分徴収に力を入れることが過年度分の収入未済額の減少につながる。
- 問** たばこを地元で購入する啓発活動は。
- 答** 各支所または本庁、税務課の窓口で啓発ポスターを掲示すると共に広報でも町内購入とマナーの徹底を呼びかけている。



あさぎり町内の販売店で
購入しましょう

建設経済常任委員会所管課分 (農林振興課・商工観光課・建設課・上下水道課)



旧須恵中跡地の住宅建設予定地

- 問** 耕作放棄地解消緊急対策事業の内容は。
- 答** 3名の方が利用して農用地区域外の4,492㎡が解消された。
- 問** 青年就農給付金825万円の内訳は。
- 答** 全部で13名で、夫婦が4件、他が9件、半年分の経費である。
- 問** 旧須恵中跡地の住宅建設の進捗状況及び完成予定時期は。

- 答** 現在、団地の造成工事を行っており、併せて取付け道路工事給水設備工事の発注・着工を進めている。
- 問** 町産材を使用し、完成予定時期は来年3月であり、入居募集は12月を目途に行い、入居予定は3月中旬の予定である。
- 答** 鳥獣害防止の状況は。
- 問** 捕獲については、鹿468頭、猿21頭、カラス75羽、猪20頭。被害の状況は、鹿、猿、猪、カラスなど通年を通して被害があるが、本年度については田植え後に被害が大きかったので、電牧木柵等の設置で対応している。
- 問** 町元気支援事業研修費補助金の内容は。
- 答** 研修内容は、大型2種免許取得3名、ホームヘルパー2級受講9名、その他医療事務、調剤薬局事務・介護、調理師免許等で16名となっている。
- 問** 鳥獣害防止駆除隊の後継者対策は。
- 答** 後継者が非常に少なく、危機を持っている。今後駆除隊



齊堂地区公衆トイレ

- 問** 定住促進費の中の企業誘致状況は。
- 答** 旧岡原中関係で大学・専門学校・福祉関係を粘り強く
- 問** 長会議等を行いながら検討していく。ふるさと振興社の経営のあり方は。
- 答** 将来自主自立、いわゆる利益を追求する形で進めていく。高額な投資となった公衆トイレ整備事業の検証は。
- 問** 検証はやっていない。事業効果は今後検証をしていき

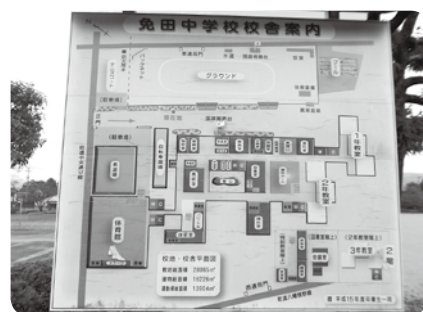
平成25年度 一般会計補正予算

歳入・歳出4億1,288万8千円を追加し
歳入歳出予算の

総額 **105億9,542万8千円**で可決

- くま川鉄道経営安定化補助金…………… 7,608千円
- 財政調整基金積立金…………… 128,541千円
- 生涯学習センター建設費…………… 153,500千円
- 子ども・子育て支援システム導入委託料等…………… 5,499千円
- 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金…………… 13,285千円
- 簡易水道費…………… 11,576千円
- 農地費…………… 14,924千円
- 起業支援型雇用創造事業費…………… 8,636千円
- 道路維持費…………… 13,960千円
- 公民館費…………… 30,064千円

- ・国民健康保険特別会計補正予算…………… 3,447千円
- ・介護保険特別会計補正予算…………… 16,914千円
- ・簡易水道事業特別会計補正予算…………… 29,576千円
- ・下水道事業特別会計補正予算…………… 5,189千円
- ・上財産区特別会計補正予算…………… 1,033千円



黒田公民分館建設予定地



生涯学習センター予定地(旧免田中)

訪問している。様々な選択肢を考
えてその一つとして進めている。

問 道路の除草剤使用は出来な
いか。

答 県は試験的に除草剤を使用
しているの今後検討する。

問 各種補助金が出ていますが、
対象者の町税等の滞納状況
は調査しているのか。

答 交付要件の中に、分納誓約
書などの項目を設けて検討
したい。

問 農業委員報酬の増額の検討
は。

答 まだ検討は行っていない
が、郡内・県内の状況を調査
したところである。

問 簡易水道特別会計における
資金不足の発生原因は。

答 管理体制の不備による事務
処理のミスが原因。

問 下水道使用料の賦課漏れの
徴収状況は。

答 57件、徴収残額674万
7,310円であり、徴収率
31%となっている。時効分の金額
は384万5860円。

は384万5860円。

条例の制定及び改正

あさぎり町特別職の職員で常
勤のものの給与及び旅費に関
する条例等の一部を改正する
条例の制定について

公職選挙法の一部改正により、成年
被後見人に係る選挙権及び被選挙権
が回復されたことから、町長、副町長
及び教育長の被選挙権喪失により失職
した場合の期末手当の支給要件につい
て、所要の改正を行うもの。

あさぎり町公益的法人等への
職員の派遣等に関する条例の
一部を改正する条例の制定に
ついて

町立保育所が社会福祉協議会へ指定
管理されることから、派遣職員の給与
等処遇について必要な措置を定める
もの。

あさぎり町営土地改良事業分
担金徴収条例の一部を改正す
る条例の制定について

分担金は、土地改良事業の施行に係
る地域の受益者で、町長が当該の施行
により特に利益を受けると認める者か
ら徴収すると定めるもの。

あさぎり町指定管理候補者選
定委員会条例等の一部を改正
する条例の制定について

あさぎり町指定管理候補者選定委員
会及びあさぎり町公共用地取得等審議
会の庶務を総務課の所管とするもの。

あさぎり町林道管理条例等の
一部を改正する条例の制定に
ついて

町が発送する公文書について、順次
やさしい文章に変えるもの。

一般質問

議員が町の執行部に対して
さまざまな角度から町政に
ついて質問する。

9人が登壇

8P ゴミの不法投棄には厳しい対応を 永井 英治 議員
体罰・いじめの実態と対策は 溝口 峰男 議員

9P あさぎり町住民協働による環境整備資材等支給条例の手応えと成果・課題は 豊永 喜一 議員

農業振興を図るうえで重要な役割を果たす女性の活動への支援について 加賀山 瑞津子 議員

10P 民間の力を活かした町づくりを推進すべきと考えるが 徳永 正道 議員

町民の利便性を高めるための本庁舎統合は喫緊の課題といえないか 久保 尚人 議員

11P 小・中学校等の九州・全国大会へ助成金は 橋本 誠 議員

温泉施設に木質バイオマスボイラー導入は 奥田 公人 議員

12P 集落営農の法人化に向けた動きは 小見田 和行 議員



豊永 喜一 議員



協働作業(築地地区)

問 あさぎり町住民協働による環境整備資材等支給条例の手応えと成果・課題は

町長 条例の制定は非常に良かった。もっと活用を

豊永 まちづくりの一環として、あさぎり町独自の政策である住民協働による環境整備資材等支給条例が、平成24年度に制定された。まだ2年目であるが、手応えと成果・課題は。

町長 地域で出来るところは一定の資材等を提供することによって共同作業等を通して、連携の絆も強まる。段々この取組みが、地域に周知されつつある。この条例の制定は非常に良かった。もっと活用してもらえば。

豊永 ゴミ減量化と生ゴミの資源化についての対策は。

町長 過去9年間で町で729t増加し、応分の費用も増えている。郡市で建設したゴミ焼却場である人吉球磨クリーンプラザがあるが、今後も延命化に取り組んで郡市一体となつて持ち込みのゴミの量を減らしたい。生ゴミの分別収集を徹底して、焼却等を持つていくゴミを何としても前年比マイナスになるよう取り組む。



町長 国・県・町が管理する箇所を把握し、町がどこまでやれるのか整理して対応したい。

永井 空き缶のポイ捨てやゴミの不法投棄には厳しく対応して頂きたい。

保健環境課長 環境美化条例に基づき、指導すべき点は指導し理解を求めていきたい。



永井 英治 議員

永井 町道には上下水道の工事の後や、また農道には横断する用排水路の部分で、道路に凹凸ができ町民に迷惑をかけている。その管理状況は。

建設課長 工事による段差が生じている路線があるのが現状である。軽微な補修は通常の維持管理で部分補修し、広範囲であれば、工事請負で発注している。

永井 河川の堤防において、雑草の繁茂が激しく隣接する農地の耕作者は大変迷惑している。環境保全のためにも除草に係る予算の優先順位を上げる事はできないか。

問 ゴミの不法投棄には

厳しい対応を

保健環境課長 指導をして理解を求めたい

問 体罰・いじめの実態と対策は

教育長 体罰は小中校各1名の職員
いじめは小学校79件、中学校13件



町長 県から3つの改善事項と2つの指導事項(1、施設職員に対する管理・指導を徹底する事。2、施設職員の支援スキルの向上を図る事。)があった。しっかりと受けとめ改善していく。

溝口 しらがね寮では、職員が利用者(寮生)をいじめていると親族から県へ申し立てがなされた。調査の結果と町の対策は。

町長 県から3つの改善事項と2つの指導事項(1、施設職員に対する管理・指導を徹底する事。2、施設職員の支援スキルの向上を図る事。)があった。しっかりと受けとめ改善していく。



溝口 峰男 議員

溝口 本年1月23日、文科省が体罰に関する実態調査を実施したが、いじめと合わせ本町の実態と対策は。

教育長 体罰は小学校1名、中学校1名の職員がおこなった。いじめは小学校79件、中学校13件あつていいる。特に小学校低学年が非常に多い。体罰は人権を無視した行為であり法律でも禁止されている。校長会・学校訪問等で職員(先生)をじかに指導している。

いじめについては、先生と生徒、そして相手から状況を聞き一つ一つちゃんと過ちを認めさせるなどの方法を取り、全て解決している。

問 農業振興を図るうえで重要な役割を果たす女性の活動への支援について

町長 ひとつずつ丁寧に

活動をみて支援する



役場内掲示板より

加賀山 今後の農業の振興を考えた場合に農業女性の会への補助金もそのひとつであるが後継者対策の一環としても、女性農業者の活動の拡大にむけて取り組むことは重要だ。例えば集落営農組織の中で女性も活動したり、生活改善グループの再構築など具体的にまず小さなグループでの活動を進めてみてはどうか。

町長 日本の場合に女性は家事も農業もされながらの地域活動



加賀山 瑞津子 議員

で負担感が大きい。現在頑張っていた方々と連携、確認し合つて、もう一つ若い世代をどうやってその中に参画させ、活動の輪を広げていけるかが勝負だ。より意識を高めた取り組みにしていきたい。

加賀山 本町の男女共同参画推進話会の目的と取り組みは。

町長 女性の今後の活躍、活動が町あるいは地域の活性化につながる。後継者をいかに参加させ育成していくかという取り組みが大切だ。

11

問 集落営農の法人化に向けた動きは

農林振興課長

法人化した組織は現在ない



小見田 和行 議員

小見田 法人化に向けた動きを県、国で進めているが、あさぎり町の現状はどうなっているか。

農林振興課長 25組織中、法人化した組織は現在のところ無いが、一つの組織が研修中である。

小見田 法人化に移行できにくい原因の分析はなされているか。

農林振興課長 経営運営の不安、税務対策、メリットが見えない等、色々な課題も抱えている。会計管理人材の育成も大きな課題なのかと考えている。

小見田 新エネルギー関連企業との連携、誘致は出来ないか。

木質バイオマス関連企業では、日本

でも屈指の企業、銘建工業が、深田で操業中であり、当社の理念、実績をもって「真庭モデル」と称され、林業振興にも活躍中である。町にとっても新産業創出のチャンスと思うが生かす考えは。

町長 中島社長も常々工場を活かしたいと言っておられる。真剣に話し合う場を設けたい。



(株)熊本製材のボイラー

意見交換会

あさぎり町区長会と町議会

9月25日、ポッポー館にて区長会主催の意見交換会が開催されました。

◆議会から

- ①議員からの町づくり提言
- ②各委員会からの報告

◆区長さんから

- ・町有の建造物インフラの維持費の見直しについて
- ・町長選挙と町議選挙の同日選挙について
- ・議員定数の削減について
- ・スマートインターチェンジについて
- ・行政区の再編統合について



- ・議場の移転について
 - ・公立多良木病院について
 - ・駅前開発整備事業について
 - ・アンテナショップ事業について
- この他にも、熱心な質問、ご意見がありました。
- 町民の皆様の為に今後も議員一同、精一杯取り組んでいく事をお伝えし閉会致しました。



意見交換会の様子

一部事務組合及び常任委員会報告

人吉球磨広域行政組合 議会報告

8月30日・人吉球磨クリーンプラザ・大会議室に於いて、第3回定例会が開議された。冒頭、議長より2名の辞職の報告、改選に伴い五木村議員2名・錦町議会より議会構成の変更に伴い2名が本組協議員として選出された旨の報告。主な審議内容としては、条例改正・補正予算(第1号)・決算特別委員会の設置等で原案通り可決した。



汚泥再生処理センター

球磨郡公立多良木病院 企業団議会報告

9月3日、第3回定例会があり、議案7件、決算認定5件、発議2件の14議案が原案通り可決認定された。平成24年度の病院・老健・健診・3事業収支決算額は、約4百万円の当年度純損失の決算内容でした。企業長の行政報告では、医師不足対策の取り組みの必要性等、報告があった。



公立多良木病院

総務文教常任委員会

8月21・22日、佐賀県吉野ヶ里町議会と熊本県立教育センター、県立装飾古墳館を視察研修した。吉野ヶ里町では合併

建設経済常任委員会

- 1、6月28日、①旧須恵中学校跡地公営住宅建設町産材利用について検討した。

②岡

原斎堂原58号線法面工事の修復工事ではコンクリートでの工事で行う事を確認した。



球磨川等の河川整備現地調査

の考古学を中心に講話を頂いた。



熊本県立教育センターに於いて

後の現状と課題について、遊休施設の活用について尋ねた。教育センターでは事業説明を受け質疑を行った。装飾古墳館に於いては館長の木崎氏より球磨地方

厚生常任委員会

- 2、7月10日、深田地区・須恵地区内における球磨川等の河川整備並びに竹林伐採と土砂の撤去について現地調査。
- 3、7月29日、須恵公営住宅建設に関して工事費増となる町産材の無償支給について今後検討するよう申し入れた。



須恵保育所

- 1、7月3・4日、木質バイオマスボイラー施設を視察研修した。
- 2、7月29日、①子ども医療費助成制度に関する調査。②救護施設(しらがね寮)。
- ③町立保育所指定管理について調査。
- 3、8月23日、錦町保育所と山江村保育所の民間委託に関する調査。

議会報告会に 94人参加

今回で3回目となる議会報告会を、10月1日と2日に町内5地区で開催しました。

この報告会は、町民の声を議会活動、町政に反映する目的で行うもので、各委員会の活動報告を中心に説明を行い出席者からの多様な意見・質問にお答えしました。

なお、当日会場で即答できなかった質問につきまして、次の通り回答・見解を掲載いたします。

問 町が開設した福岡アンテナショップの現状課題について伺う。また、赤字であるならば、その責任の所在を問う。（上、免田、岡原、深田）

答 平成21年度から取り組んでいる販路拡大策は、24年度から(有)ふるさと振興社が商工会から引き継いで実施をしている。それに合わせ福岡アンテナショップを開

設することになり24年度の売上を3,058万円、経費を650万円との計画が説明されたが計画の実現に無理があると議会でも出店することに賛否両論あったが最終的には予算を認めた。25年度の当初予算審議では24年度の売り上げ実績が520万円しかなく計画の数字に程遠いことからアンテナショップの継続を認めない方向で進んでいたが店舗解約に違約金が発生する事や商品をスタンプ販売している事でお客様に迷惑をかけるなどのリスクも大きかったため25年度末(26年3月31日)で閉鎖することを町長と確約し予算を認めた。25年度の売り上げ目標は6千万円



免田地区会場(ポッポ一館)

めない方向で進んでいたが店舗解約に違約金が発生する事や商品をスタンプ販売している事でお客様に迷惑をかけるなどのリスクも大きかったため25年度末(26年3月31日)で閉鎖することを町長と確約し予算を認めた。25年度の売り上げ目標は6千万円

問 公立多良木病院の運営について、10月から診療体制が変わり、八代などの遠い病院を紹介されるなど、住民にとっては先行き不安である。現状の打開策を問う。（上、免田）

答 医師不足が最大の問題で、これまで病院の増改築、医師住宅建設、運営も3年前より、組合病院から企業団病院となり、黒字経営を維持してきたが昨年は赤字決算となり本年度はさらに厳しいものがある。ピーク時から10名の医師が減少してきた原因は、国・大学病院が二次医療圏に一つの病院に集約する形になってきたことや、新臨床研修医制度により、医師が自ら研修病院を選択できることにより中央に集まり、地方の大学病院に残る医師が激減してきた現実がある。今後は、24時間救急医療体制を維持するために地域医療振興協会に指定管理委託する交渉に入り、複数の総合内科医の安定的確保ができる努力をしている。

実態調査によると約20%のコンビニ受診があり、当直医の疲弊に拍車がかかっています。住民の皆さんの御協力をお願いしたい。

問 廃食用油によるバイオディーゼル燃料(BDF)の活用実験の経過はどうなったか、また実用化に向けて続けてはどうか。（上）

答 この燃料を使用した公用ダンプが以前に不具合を起こした。現在も公用車一台に使用しているが、安定的な実用化には、廃食用油の確保と製造装置の精度を上げる必要がある。

問 定例会議(以前の定例会)以外の本会議開催について広報がなされず、いつ行われたのか分からないので、広報等をお願いする。(免)

答 定例会以外(以前の定例会)の開催は、開議請求から本会議開催までの期間が短いため、告知放送や町のホームページで周知を行う。

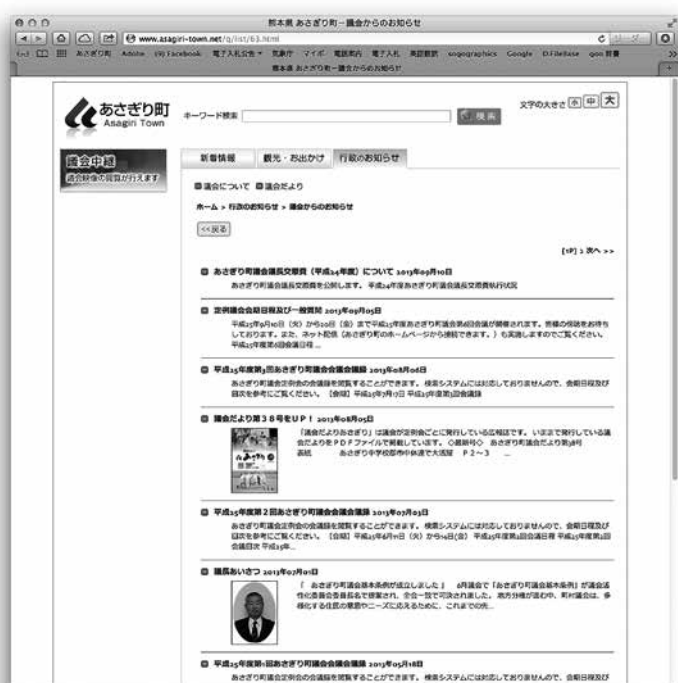
問 議会基本条例に書かれている各議員の活動に

対して町民の評価が的確にされるよう情報の提供に努めることと、議会の説明責任を果たすことの整合性は。先の区長会との意見交換会の折、事前質問を却下されたが、前もって本人に通告してもらえば、質問内容を変更できたはずだった。あさぎり町議会基本条例の文言では、議員個人の意見を述べる義務があると思うが見解を問う。(深田)

答 先般の区長会との意見交換会及び議会報告会で、議会は合議制であり多数決で物事を決めることから、議決並びに決定していない事項と議員個人の見解を問う質問については、答えを控えさせていただくとし上げた。その真意は、こういう会では議員同士で議論する時間は取れないこと。未決事項や議員の私見を問う質問に答弁すると、公平性を保つという議会の本質から、異論を持つ全ての議員の発言を認める必要がある。結果として、議論は深まるがひとつの問題で多くの時間を要し、限られた時間の

中で出来るだけ多くの参加者から多様な意見を拝聴するという、会の本来の目的が損なわれることが危惧される。そのため、過去の議会報告会も、議会として他の団体と懇談会をした場合も、すべてこの方式で行わせていただいた。皆様のご理解をお願いしたい。ただ、区長会との意見交換会においては議員個人の見解を問う事前質問に対し、会場で回答拒否をしたが、予告しなかったことについて、配慮

が足りなかったと反省しお詫びします。なお、本議会では、議会基本条例第5条6項に規定しているとおり「重要案件に対する各議員の態度を議会広報で公表」「本議会は全てライブと録画でネット配信」「ホームページで議事録を公表」して、議員各自の議場での発言及び行動についても他自治体議会に先駆けて情報公開を図っている。どうぞご利用を。



あさぎり町議会ホームページ

あさぎり町議会報告会参加者数一覧

月 日	会 場 名	地 区 別 参 加 者 数					
		上	免 田	岡 原	須 恵	深 田	その他
10月1日	免田：ポッポ一館	3	17	0	2	1	1
	上：議会議場	13	0	2	0	0	1
10月2日	岡原：もみじ館	4	1	15	1	0	0
	須恵：文化ホール	0	0	0	15	0	0
	深田：せきれい館	0	4	0	0	12	2
合 計		20	22	17	18	13	4
総参加者 94人							報道 2 他町村 2



須恵覚井
松山 和子

須恵大好き・あさぎり大好き

晴天のもと、地域の特徴ある競技「与作」(丸太切り)などもあり、須恵支部体育祭は旧14地区が大いに盛り上がりました。今年は20代の子供たちが「がまだせすえ」のロゴ入りのおそろいのピンクのシャツを着て参加し、頑張っていました。地域のつながりという点でいうと、石坂地区にも、昔ながらの伝承芸能があり、今月末の須恵支部の文化祭で「棒踊り」が披露されます。今、須恵小では、地元住民が旧須恵時代からの歴史や文化を児童に話す「語り部の会」が活動中です。「育てたい地元愛、小学生に古里学」として、村の祭りといった風習や文化財を伝えていて、その様子は新聞にも掲載されました。

他にも須恵村を世界に広めたエンブリー博士(米)の話もあり、地元には、よそに誇れる素晴らしいものがたくさんあります。人としてのかかわりが希薄になりがちな今だからこそ地域のふれあいの時間を大切に、須恵が大好き、あさぎりが大好きだという人が増えていくことを望みます。



岡原竹野
吉永 達也

将来を担う子ども達の実環境整備

いつからだろうか、思春期を迎えた次女との会話が少なくなったのは…。

「そんなものだよ」周りからなぐさめられてもどうにも納得いかない。そんな中、私が大切にしている娘との時間があります。

それは、中学校からの帰り道、薄暗い道を一人で帰ってくる娘を、自転車で迎えに行く事です。この時ばかりは、私の問いかけに断片的な答えながらも、父と子の会話が成立します。普段、家では聞かない内容で、そのひとつひとつの会話が私には新鮮であり、しっかりとした考えを持っている事に気付く事が出来ました。

こんな娘が、夢あふれる将来へ大きく羽ばたけるよう期待しています。あさぎり町へお願いします。

子ども達の安全を考え、通学路の整備、教育環境の向上への支援等をお願い致します。

子ども達が、楽しく学校生活をおくれますように…。

編集後記

8月の下旬、国の来年度予算の概算要求が出ました。一般会計で過去最高の99・2兆円と今年の予算を七兆円も上回る金額です。アベノミクスで民間の設備投資も上向き始めて、今後の景気動向に関して楽観視しているのかもしれませんね。

財務省の査定はこれからですが、国の厳しい財政状況を官僚の皆さんは真剣に考えているのか、呆れるばかりです。

金利が日銀が目指すところの2%上昇すれば、政府の歳入の80%と同額の利払い負担が発生し、政府はのびきならない状況に陥ります。

わが町は、予算の半分以上を国からの交付税に頼る町です。

ここは国を反面教師として、良識ある堅実な予算組みをお願いしたいものです。

(久保尚人)

編集・発行責任者
議長 橋爪 和彦
広報調査特別委員会
委員長 豊永 喜一
副委員長 加賀山 瑞津子
委員 溝口 峰一
久保 尚人
小出 高明
橋本 誠



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。